

早通地域の公共施設のこれからを考える 取り組みをご紹介します！



現状

再配置案 コミュニティセンター、児童センターともに現状維持した場合

施設配置図

コスト 工事費を含めた今後30年の管理運営費：**14.7**億円

延床面積 **1,365.62㎡**
(コミセン棟:797.24㎡、いするぎ荘:231.5㎡、児童センター:336.88㎡)

各施設平面図

【コミセン 1F】

【児童センター】

【いするぎ荘】

【コミセン 2F】

【いするぎ荘】

～みなさまの意見をお聞かせください～

問い合わせ 早通地域実行計画コミュニケーション事務局
北区地域総務課 ☎ 025-387-1165
財務部財産活用課 ☎ 025-226-2387

I 案

再配置案 コミセン棟1棟を大規模改修し、子どもの居場所・遊び場機能を持った多機能コミセンに再編する案

施設配置図

コスト 工事費を含めた今後30年の管理運営費：**10.9**億円
現状案との差額：**3.8**億円

延床面積 **797.24㎡**(既存のコミセン棟の大きさ)
※現在のコミセン貸室の利用状況より判断

機能配置イメージ

【現コミセン棟 1F】

【現コミセン棟 2F】

【機能】

- ①子どもの運動場所
※現児童センターの体育館の機能
- ②子どものフリースペース
※現児童センターの図書室・集会室の機能
- ③多用途貸室
- ④学習スペース
- ⑤多世代フリースペース
- ⑥事務室
- ⑦連絡所
- ⑧災害備蓄
※調理機能は廃止
※エレベーター整備やトイレの多機能化等、設備の改善も行う

特徴

- ・延床面積が再配置案の中で最大。
- ・大規模改修であることからレイアウトに制約がある。
- ・コミセンに子どもの居場所・遊び場機能が集約されるので多世代交流事業を展開しやすい。

II 案

再配置案 平屋1棟を新築し、子どもの居場所・遊び場機能を持った多機能コミセンに再編する案

施設配置図

コスト 工事費を含めた今後30年の管理運営費：**11.2**億円
現状案との差額：**3.5**億円

延床面積 **500～700㎡程度**
※現在のコミセン貸室の利用状況より判断

機能配置イメージ

【屋内(平屋)】

【機能】

- ①子どもの運動場所 ※現児童センターの体育館の機能
- ②子どものフリースペース ※現児童センターの図書室・集会室の機能
- ③多用途貸室 ④学習スペース ⑤多世代フリースペース
- ⑥事務室 ⑦連絡所 ⑧災害備蓄
※調理機能は廃止

特徴

- ・コストが再配置案の中で最も高くなることが想定される。
- ・新築であることからレイアウトの自由度が高く、一体感のある空間づくりが可能。
- ・コミセンに子どもの居場所・遊び場機能が集約されるので多世代交流事業を展開しやすい。

III 案

再配置案 いするぎ荘1棟を増築含む大規模改修し、コミセンとするとともに、子どもの居場所・遊び場機能は早通南小に移転する案

施設配置図

コスト 工事費を含めた今後30年の管理運営費：**7.2**億円
現状案との差額：**7.4**億円

延床面積 **231.5(既存のいするぎ荘の大きさ)～400㎡程度**
※現在のコミセン貸室の利用状況より判断

機能配置イメージ

【早通南小学校(施設整備無)】

【機能】

- ①子どもの運動場所
※現児童センターの体育館の機能
- ②子どものフリースペース
※現児童センターの図書室・集会室の機能

特徴

- ・コストが再配置案の中で最小になると想定される。
- ・延床面積が再配置案の中で最小。
- ・I案と同じくレイアウトに制約がある。
- ・コミセンに子どもの居場所・遊び場機能が集約されないため多世代交流事業の実施に工夫が必要。